

# スマイル

明生リハビリテーション病院季刊誌 Vol.18



Photo  
平成27年  
明生リハビリ  
テーション病院  
新年会

**C**ontents

- 2P 平成27年 明生リハビリテーション病院 新年会
- 3P 院内旅行
- 4P MOA美術館所沢児童作品展
- 5P ヨーロッパ研修・12月行事 クリスマス会
- 6P 山田 達夫の健康コラム
- 7P りらいふ通信・イブニングリハビリの活動報告
- 8P 医療連携室かわら版



平成  
27年

## 明生リハビリテーション病院 新年会

### 平成27年 明生リハビリテーション病院 新年会を開催いたしました。

平成27年1月23日(金)所沢・THETA MU(シータミュ)にて当院の新年会が行われました。

参加者は来賓・関連施設・職員合わせて約130名を超え盛大に執り行われました。料理もおいしく、途中豪華景品が当たるゲーム大会もあり、職員・グループ病院の方にも参加して頂き、楽しく交流を深める事が出来ました。

新年会で見せたパワーを日頃の業務にも発揮したいと思っております。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。



# 院内旅行に行ってきました!!

## 劇団四季と 日帰り 都内一流ホテルランチ

3階病棟師長 柴田 智美

11月20日(木) グランド ハイアット 東京6階 オー  
クドアにてランチと劇団四季ミュージカル『マンマ・ミー  
ア!』を観賞してきました。都心の真ん中で日頃行くこと  
のない高級ホテルでのランチと素敵なミュージカル。  
ミュージカルのラストはABBAのヒットソングでのコン  
サート♪大人が楽しめるミュージカルで現実の世界から  
少し離れ楽しいひとときを過ごすことができました。



## ベトナム旅行

3泊4日

リハビリテーション科  
理学療法士 山下 亜澄

3泊4日でベトナム(ダナン)へ院内旅行に行かせていただきました。  
出発から飛行機が遅れるというアクシデントにも見舞われましたが、  
ダナン・ホイアンの市内観光、ベトナム料理を堪能することができました!!  
現地のガイドさんもととても良い人で、プランにない所に連れて  
行ってもらったりと、私たちのわがままをたくさん聞いてもらいま  
した。また他病院の方々と全員で食事をする機会もありました。  
他愛ない会話をし、楽しい時間を過ごすことができました。  
とても有意義な時間を過ごすことができ、良い思い出になりま  
した。皆さんもぜひ1度ベトナムへ!!

# MOA美術館 所沢児童作品展

表彰式



平成26年12月7日(日)第23回 MOA美術館所沢児童作品展の表彰式が行われました。所沢市内の小学校32校から寄せられた応募総数2,514点の中、上位入賞した23名の表彰式があり、今年は当院の酒井院長の希望により、金賞・銀賞等の賞に加え、明生リハビリテーション病院スマイル大賞を出させて頂き、3名のお子さんが入賞致しました。また、60点の作品を明生リハビリテーション病院内に1週間展示し、入院中の患者様やご家族様・職員に元気を与えてもらいました。

小学生のお子さんの元気に負けないように職員一同、今後もより良い医療を提供できるように頑張って務めていきたいと思っております。

医療事務部 手塚 佑

行ってきました。



# ヨーロッパ研修に



海外のリハビリテーション視察と法体制、治療技術の研修を受ける事を目的に欧州へと向かった。ドイツの研修では病院の効率的な業務システム、日本と違う医療制度、保険制度について学ぶ事ができた。日本と違い民間の保険会社が支払を行う為、被保険者の早期職場復帰、患者様が早く保険料を納められる立場になるように徹底した訓練を展開していたことが印象に残る。スイスでは施設見学後、水中での運動療法指導やボルダリングでの訓練などが見学出来き、事務や電気、木工作業などの職業に合わせた職業前訓練施設も併設され、職場復帰への意識の高さが印象的である。今後の日本のリハビリでも自宅復帰と併せて職場復帰を強く意識することが重要と感じた。

リハビリテーション科  
理学療法士主任 **松井 毅**



## 平成26年度 クリスマス会



平成26年12月21日、クリスマス会を行いました。当院では、毎年クリスマス会と七夕会は、2大行事としてスタッフ一同力を合わせて開催しています。

去年のクリスマス会では、スタッフの出し物やゲームを行いました。今年はボランティア団体「メイプル」さんをお招きして、ヴァイオリンの演奏をして頂きました。もろびとこぞりて、雪、きよし この夜、見上げてごらん夜の星を…など、懐かしい童謡や歌謡曲から、クラシックのクリスマスメドレーなど、心地よい音色に聞き入りながら、素敵なクリスマスコンサートとなりました。

その他にも、ゲームでは患者様全員参加での風船送りを行ったりと、笑顔溢れるクリスマス会となりました。



リハビリテーション科  
理学療法士 **柳田 愛**



## 今後取り組む意欲障害対策は、平均在院日数の短縮化のために、 より積極的に行われるべきである — ①

### (1) 意欲障害への取り組みの意味するもの

昨年暮れの当法人院長会で、当法人参与の林泰史先生（東京都リハビリテーション病院元院長）より『原宿リハビリテーション病院の目指す医療』と題する御講演を拝聴しました。ここでは、先生のお話に共感するという思いの中で、回復期リハビリテーションの今後について私見の一部を述べたいと思います。

当法人は健全経営のもとで常に医療の質の向上を目指しております。この両者を満足させ、法人を発展させるために我々が今後行うべき施策について提案いたします。

まず前提として現状認識を共通のものにしておく必要があります。一般に回復期リハをとりまく状況は下記のように認識されています。

- ①高齢化のためにますますリハビリの必要性は高まっています。
- ②しかし医療費をそれに見合っただんどん増やすことはできません。
- ③したがって効果的・効率的医療の実践（質の向上）がますます求められています。

そして③の評価のために例えば平均在院日数を尺度として用いる傾向にあります。すなわち在院日数を減らす取り組みが行われているのであります。しかし医療の中身の検討なしに、単純に日数が減少したというだけでは全く不正確であります。

在院日数の評価は入院患者の特徴にも影響されますので、その評価にあたっては主病名、合併症やFIMなど詳細な検討の後に、群間評価を行っていくこととなります（疾病群間、病院間、FIM得点別であったり、月間評価などによって）。また、ここで問題としている意欲障害などのリハビリ障害因子の解析も必須であります。

私は平成26年4月から千葉みなとリハビリテーション病院に所属し、病棟医として勤務しております。この約8か月の間で回復期リハビリテーション病院に入院している患者様の1/3が意欲障害（いわゆるアパ

シー状態）を呈するということを見出し、愕然としております。次の1/3は極めて意欲的にリハに取り組む方々です。最後の1/3は特に拒否することなく淡々とリハビリテーションを受け入れておられる方々であります。

ある特定の病変部位（前頭葉や大脳基底核）、患者の心理的要因、あるいは社会背景要因によって意欲障害（やる気のなさ）は出現し、それが強いリハビリテーションの障害因子になることはよく知られています。もし、意欲障害の強い患者を入院させ、その状態に対する対策も立てずに放置しておくならば、患者はリハビリ治療を拒否し続けるだろうし、結果、全く無意味な入院生活を強いることとなります。それは家族のためのレスパイト入院であると言われかねません。そして、拒否するからといって対策も立てずに患者治療を放置することは、医療放棄といっても差し支えない状態であろうと考えます。

日本の医療は公的医療保険制度によって成立している現状にみられるごとく多くの国民に開かれています。必要な医療を公平に受ける権利は憲法に保障されています。金がないからといってリハビリは受けられないという制度ではなく、欧米のように意欲障害を盾にとって最初から治療を放棄するのは誤りであろうと考えます。

日本でも格差の拡大は広がりがつあると言われております。昨今話題になっている混合診療の導入も格差拡大に道を広げます。当法人は無料低額診療制度を取り入れている一般社団法人であり、所得の少ない方にも医療が施せるように格差縮小に努めております。さらに入院適応を十分に議論し、やる気がなければ直ちに入院適応外とは断定せず、リハビリ入院の適応が少しでも認められれば、入院をお受けする対応をしております。もちろん認知症が合併していたとしても改善が予測できれば入院していただきます。今後もこのような原則的方針を維持するために、入院時に問題となる意欲障害に一層取り組むことを提案いたします。

次回(2)、(3)へ続く



# 地域医療 連携室 かわら版



平成26年7月1日付で地域医療連携室に異動になりました、山本小百合と申します。

現在連携室は、前方支援2名、後方支援4名、室長1名の計7名体制で日々の入院受入れ・退院調整を行っております。

昨年9月からは各病棟に専従の退院支援の相談員を配置し、体制強化加算を算定することができました。

今後も他職種間の連携、地域の病院との連携を図り、スムーズな入退院調整ができるように努力してまいりたいと思います。

地域医療連携室室長 **山本 小百合**

このたび、9月よりグループ病院の八千代リハビリテーション病院より、異動してまいりました地域医療連携室の田代裕一と申します。3階病棟を担当させていただいております。

少しでも、患者様のお役に立てるよう、関連機関と連携を図っていきたく思います。

入院生活や福祉サービスに関することなど、ご不明、ご不安な点がございましたらご相談いただけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

地域医療連携室 **田代 裕一**

※見学希望の方は、明生リハビリテーション病院地域医療連携室 石塚・山本まで  
お電話下さい。TEL:04-2929-2220

一般社団法人 巨樹の会  
 **明生リハビリテーション病院**

〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4-2681-2  
[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車 徒歩 15分

タクシーをご利用の場合  
西武池袋線小手指駅北口より約5分

お問い合わせ

TEL 04-2929-2220  
FAX 04-2939-2136

交通のご案内

